

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【公開番号】特開2012-225693(P2012-225693A)
【公開日】平成24年11月15日(2012.11.15)
【年通号数】公開・登録公報2012-048
【出願番号】特願2011-91616(P2011-91616)
【国際特許分類】

G 0 1 J 1/02 (2006.01)

G 0 1 J 5/06 (2006.01)

【F I】

G 0 1 J 1/02 C

G 0 1 J 5/06

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月4日(2014.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

第2の発明の赤外線センサは、第1の発明において、前記第1の配線膜と前記赤外線反射膜とが、平面視において前記収納部の上部を塞ぐ形状とされていることを特徴とする。

すなわち、この赤外線センサでは、第1の配線膜と赤外線反射膜とが、平面視において収納部の上部を塞ぐ形状とされているので、第1の配線膜と赤外線反射膜とにより絶縁性フィルムを透過して収納部内へ抜ける赤外線を収納部の上部全体で遮断することができ、筐体が加熱されることをさらに抑制することができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

また、第1の配線膜4Aと赤外線反射膜6とが、平面視において収納部7aの上部を塞ぐ形状とされているので、第1の配線膜4Aと赤外線反射膜6とにより絶縁性フィルム2を透過して収納部7a内へ抜ける赤外線を収納部7aの上部全体で遮断することができ、筐体7が加熱されることをさらに抑制することができる。